厚生労働省
岩手労働局

厚生労働省岩手労働局発表
令和８年 11 月 24 日（火）

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課　　長　田上（たのうえ）博教（ひろかず）
課長補佐　千田智勝
（電話）　019－604－3007

報道関係者　各位

令和８年１月～10 月分の労働災害発生状況（速報値）を公表します

～令和８年１月～10 月の死傷者数は前年同期比で 1.7%の増加～

岩手労働局（局長　川又（かわまた）　修司（しゅうじ））は、令和８年１月～10 月の県内の労働災害による死亡者数と死傷者数（休業４日以上）の状況を取りまとめました。

【令和８年（１月～10月）の労働災害発生状況について】

令和８年１月～10月の死亡者数は11人で、前年同期比で７人の増加、死傷者数（10月末現在の速報値）は1,092人で、前年同期比で18人（1.7%）の増加となっています。

死傷者のうち、転倒災害によるものが引き続き発生しており、全体の約33%を占めており、転倒災害では50歳以上が約77%を占めています。

【今後の取組等について】

○　死亡災害については、昨年と比べると大幅に増加（＋７人）しており、７月～10月にかけて４か月連続で発生しています。いずれも詳細は調査中ですが、これらの中には作業計画の策定や誘導員の配置等による重機等の墜落防止措置やかかり木の処理など、法令を遵守していれば防げたものもあります。

○　このため遵守はもとより、第14次労働災害防止計画（令和５年度～令和９年度）に基づく労働災害防止措置を引き続き推進するとともに、本年度も岩手労働災害防止団体連絡協議会（※）と協力して「令和８年度いわて年末年始無災害運動」（令和８年12月～令和９年１月。準備期間令和８年11月。）を展開し墜落・転落災害や冬季特有災害の防止も含めた労働災害防止を推進してまいります。

○　さらに、一番多く発生している転倒災害については、冬季に多発する傾向にありますので、令和８年度いわて年末年始無災害運動と併せて12月～翌年２月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、積雪・路面凍結による転倒災害防止を推進します。

（※）岩手県の労働災害防止団体等の10団体で構成され、労働災害防止に関する行事の開催等を通じて労働災害防止の推進を図ることを目的とする協議会

別添

Ⅰ　令和８年（１月～10月）の労働災害発生状況（令和８年10月末現在の速報値）

１　死亡災害【表１】(P.３)

（１）全業種合計

全業種合計の死亡者数は11人で、前年同期と比べ７人の増加となっています。

（２）業種別の状況

業種は、「製造業」が４人、「農林業」が３人、「建設業」が２人、「鉱業」、「運輸交通業」がそれぞれ１人となっています。

２　死傷災害（休業４日以上）

（１）全業種合計【表２】(P.４)

全業種合計の死傷者数は 1,092 人で、前年同期比で 18 人（1.7%）の増加となっています。

（２）業種別の状況[大分類]【表２】(P.４)、【グラフ１】(P.５)

①　前年同期比で増加数の多い順に、「接客娯楽業」77 人（前年同期比+16 人、+26.2%)、次いで、「農林業」59 人（同+12 人、+25.5%)、「製造業」240 人(同+11 人、+4.8%)、「保健衛生業」131 人（同+９人、+7.4%)、「畜産水産業」58 人（同+７人、+13.7%）などとなっています。

②　前年同期比で減少しているのは、「運輸交通業」106 人(前年同期比-21 人、-16.5%)、「建設業」125 人（同-18 人、-12.6%）などとなっています。

（３）事故の型別状況【グラフ２】(P.５)、【参考３】(P.８)

最も多い事故の型は「転倒」によるもので、357 人 (32.7%) となっています。次いで、「墜落・転落」179 人（16.4%)、「動作の反動・無理な動作」127 人（11.6%)、「はさまれ・巻き込まれ」88 人 (8.1%) となっています。その他は、「飛来・落下」61 人 (5.6%)、「激突」57 人（5.2%)、「切れ・こすれ」52 人（4.8%)、「激突され」49 人（4.5%)、「交通事故（道路)」43 人（3.9%）などとなっています。

（４）年齢別の状況【参考２】(P.　７)

50 代以上が 656 人（全業種合計の 60.1%）となっています。また、転倒災害については、50 代以上が 357 人中 273 人と 76.5%を占めています。

３　新型コロナウイルス感染症による労働災害【別表】(P.９)

新型コロナウイルス感染症による労働災害は 62 人で、前年同期比で 16 人の増加となっています。

Ⅱ　今後の取組について

○　死亡災害については、昨年と比べると大幅に増加（＋７人）しており、７月～10月にかけて４か月連続で発生しています。いずれも詳細は調査中ですが、これらの中には作業計画の策定や誘導員の配置等による重機等の墜落防止措置やかかり木の処理など、法

令を遵守していれば防げたものもあります。

○　このため遵守はもとより、第 14 次労働災害防止計画（令和５年度～令和９年度）に基づく労働災害防止措置を引き続き推進するとともに、本年度も岩手労働災害防止団体連絡協議会（※）と協力して「令和８年度いわて年末年始無災害運動」（令和８年 12 月～令和９年１月。準備期間令和８年 11 月。）を展開し墜落・転落災害や冬季特有災害の防止も含めた労働災害防止を推進してまいります。

○　さらに、一番多く発生している転倒災害については、冬季に多発する傾向にありますので、令和８年度いわて年末年始無災害運動と併せて12月～翌年２月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、積雪・路面凍結による転倒災害防止を推進します。

（※）岩手県の労働災害防止団体等の10団体で構成され、労働災害防止に関する行事の開催等を通じて労働災害防止の推進を図ることを目的とする協議会

【表1】　　令和8年　死亡災害発生状況（令和8年10月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業　種	発生月	曜日	性別	年 齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	花巻	運輸交通業 （道路貨物運送業）	2月	日	男	50歳代 (30年以上)	交通事故 （道路）	トラック	トラックで東北自動車道を走行中、タイヤがバーストし、路肩に駐車して車から降り車両前方を移動中、大型トラックが追突し、押し出された自車に轢かれた。
2	盛岡	農林業 (林業)	2月	月	男	80歳代 (30年以上)	飛来、落下	立木等	斜面の立木をチェーンソーで伐倒する際、当該伐倒木とは別の立木とつる絡みしていたため、当該別の立木が折れて飛来し、被災者の頭部に激突した。
3	大船渡	製造業 （化学工業）	4月	月	男	30歳代 (1年以上10年未満)	崩壊、倒壊	荷姿のもの	積み上げられたフレコンバッグ上で在庫確認作業を行っていたところ、フレコンバッグ（約６００ｋｇ）が被災者側に崩壊し下敷きとなった。
4	盛岡	建設業 （土地整理土木工事業）	7月	水	男	60歳代 (1年以上10年未満)	墜落・転落	トラック	土砂を積んだ３トンダンプトラックで土捨て場の穴（直径約８m、深さ約５m）に向かって後退走行していたところ、走行路（鉄板敷）の端部からダンプトラックとともに転落した。
5	盛岡	鉱業 （砂利採取業）	8月	木	男	70歳代 (1年以上10年未満)	墜落・転落	掘削用機械	ドラグ・ショベルにより玉石の採取作業を行っていたところ、掘削した穴（深さ約６m、水深約３m）にドラグ・ショベルとともに転落し、水没した。
6	宮古	建設業 （電気通信工事業）	8月	金	男	50歳代 (20年以上30年未満)	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	屋外の電気工事において、被災者が体調不良を訴えたため、冷房を稼働させた車内で休憩させていた。その後、意識が無い被災者を車内で発見し、救急搬送したが死亡が確認された。
7	盛岡	製造業 （一般機械器具製造業）	9月	木	男	70歳代 (30年以上)	墜落・転落	作業床、歩み板	電気設備の点検作業を行っていた被災者が、配電盤の通路（高さ約１m）の下の地面に倒れていた。療養中であったが死亡した。
8	大船渡	農林業 (林業)	9月	月	男	70歳代 (20年以上30年未満)	墜落・転落	伐木等機械	伐木等機械（フェラーバンチャ）を用いて作業路を作設していたところ、作業路の谷側が崩落し、機械ごと約２０m下に転落した。被災者は運転席から投げ出された状態で発見された。
9	花巻	製造業 （窯業土石製品製造業）	9月	金	女	70歳代 (10年以上20年未満)	その他	分類不能	工場の窓とシャッターの開放準備作業中、シャッター付近で頭部から出血して倒れているところを発見された。
10	盛岡	製造業 （その他の製造業）	10月	金	男	40歳代 (10年以上20年未満)	墜落・転落	その他の装置、設備	クリーニング工場において、洗濯用機械に搬送するためのバッグに洗濯物を詰める作業等に従事していた被災者が、洗濯後の衣類を入れるかごの中で意識を失い倒れているのを発見された。
11	宮古	農林業 (林業)	10月	火	男	70歳代 (1年以上10年未満)	崩壊、倒壊	立木等	被災者がチェーンソーを用いて立木の伐倒を行ったところかかり木が発生し、その後にかかり木が落下して被災者に接触した。

業種などの内訳

業種別	製造業 4 人 （ 1 人）	鉱業 1 人 （ 0 人）	建設業 2 人 （ 0 人）	運輸交通業 1 人 （ 0 人）	林業 3 人 （ 0 人）	商業 0 人 （ 0 人）	左記以外 0 人 （ 3 人）	１１人 （4人）
監督署別	盛岡 5 人 （ 1 人）	宮古 2 人 （ 0 人）	釜石 0 人 （ 0 人）	花巻 2 人 （ 1 人）	一関 0 人 （ 1 人）	大船渡 2 人 （ 0 人）	二戸 0 人 （ 1 人）	
事故の型別	墜落・転落 5 人 （ 2 人）	転倒 0 人 （ 0 人）	飛来・落下 1 人 （ 0 人）	崩壊・倒壊 2 人 （ 0 人）	激突され 0 人 （ 0 人）	はさまれ・巻き込まれ 0 人 （ 1 人）	切れ・こすれ 0 人 （ 0 人）	
	破裂 0 人 （ 0 人）	高温の物との接触 1 人 （ 0 人）	激突 0 人 （ 0 人）	感電 0 人 （ 0 人）	有害物等との接触 0 人 （ 0 人）	交通事故(道路) 1 人 （ 0 人）	その他 1 人 （ 1 人）	

注：（ ）内は前年同期

【表2】

令和８年　労働災害発生状況　（休業４日以上の死傷者数）

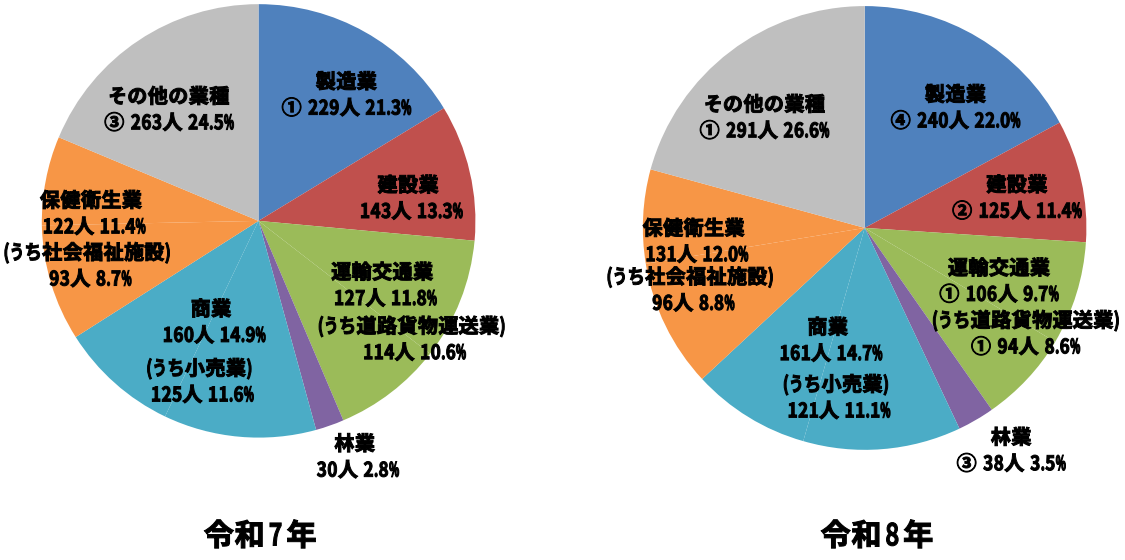
令和８年１月～10月

岩手労働局

業種			岩手局 令和８年	岩手局 令和７年	増減数	増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
製造業	食料品	水産食料品	16 (5)	19 (8)	-3	-15.8%	1 (1)	1	8 (3)	1		3 (1)	2
		上記以外の食料品	77 (22)	67 (21)	10	14.9%	25 (5)	2	1	24 (12)	8 (1)	4	13 (4)
	繊維・衣服その他繊維製品		7 (3)	5	2	40.0%				1	3 (2)	3 (1)	
	木材・木製品、家具・装備品		16 (2)	25 (2)	-9	-36.0%	5 (1)	4 (1)	1			3	3
	パルプ・紙、印刷・製本		6 (3)	① 7 (1)	-1	-14.3%	3 (2)				3 (1)		
	化学工業		① 14 (4)	15	-1	-6.7%	2 (2)	2	3	5 (1)	1 (1)	① 1	
	窯業土石		① 9 (2)	7 (1)	2	28.6%				① 5 (1)	2		2 (1)
	鉄鋼業、非鉄金属		10 (1)	9 (3)	1	11.1%	1			8 (1)	1		
	金属製品		20 (5)	15 (5)	5	33.3%	6	2 (1)		6 (3)	5 (1)	1	
	一般機械器具		① 18 (3)	18 (7)	0	0.0%	① 3 (1)		3 (1)	10 (1)	2		
	電気機械器具		10 (5)	8 (4)	2	25.0%	1 (1)	1	1	6 (4)			1
	輸送用機械製造		19 (1)	15 (2)	4	26.7%			1	8 (1)	4	5	1
	電気・ガス			2 (2)	-2								
	その他の製造		① 18 (5)	17 (5)	1	5.9%	① 7 (3)	1		4	2 (1)	1 (1)	3
	小計		④ 240 (61)	① 229 (61)	11	4.8%	② 54 (16)	13 (2)	18 (4)	① 78 (24)	31 (7)	① 21 (3)	25 (5)
鉱業			① 4 (1)	1	3	300.0%	① 3 (1)				1		
建設業	土木工事		① 45 (7)	46 (8)	-1	-2.2%	① 16 (2)	9 (1)	1	10 (4)	3	3	3
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	14 (3)	11 (4)	3	27.3%	3		1	5 (1)	1		4 (2)
		木造家屋	20 (1)	41 (9)	-21	-51.2%	10 (1)		1	4	4		1
		その他の建築工事	23 (6)	24 (3)	-1	-4.2%	6 (3)		2 (1)	6	2 (1)		7 (1)
	その他の建設		① 23 (4)	21 (3)	2	9.5%	12 (4)	① 3		3	3	1	1
	小計		② 125 (21)	143 (27)	-18	-12.6%	① 47 (10)	① 12 (1)	5 (1)	28 (5)	13 (1)	4	16 (3)
運輸交通業	道路貨物運送業		① 94 (19)	114 (15)	-20	-17.5%	37 (10)	2	4 (1)	① 37 (7)	10 (1)	2	2
	その他の運輸交通業		12 (6)	13 (5)	-1	-7.7%	9 (4)			2 (1)			1 (1)
貨物取扱			1	1	0	0.0%	1						
農林業	農業		21 (4)	17 (3)	4	23.5%	9	1 (1)	1	5 (2)	3	1	1 (1)
	林業		③ 38 (3)	30 (2)	8	26.7%	① 12 (1)	① 5	5 (1)	4	1	① 4	7 (1)
畜産水産業	畜産業		45 (11)	① 39 (5)	6	15.4%	19 (4)		2	6	3	1	14 (7)
	水産業		13 (2)	① 12 (2)	1	8.3%		2	1			6 (1)	4 (1)
商業	小売業		121 (66)	125 (60)	-4	-3.2%	60 (30)	3 (2)	5 (2)	30 (19)	16 (9)	4 (2)	3 (2)
	その他の商業		40 (17)	35 (14)	5	14.3%	17 (10)	2	1	15 (4)	4 (3)	1	
通信業			14 (3)	15 (7)	-1	-6.7%	6	1		2 (1)	2	1	2 (2)
保健衛生業	社会福祉施設		96 (43)	93 (32)	3	3.2%	27 (11)	6 (3)	5 (4)	29 (10)	9 (5)	8 (6)	12 (4)
	その他の保健衛生業		35 (13)	29 (15)	6	20.7%	15 (3)	1	3 (1)	9 (4)	3 (2)		4 (3)
接客娯楽業	旅館業		24 (12)	① 23 (15)	1	4.3%	14 (4)	1 (1)		7 (5)	1 (1)		1 (1)
	飲食店		32 (11)	28 (12)	4	14.3%	15 (2)		2 (2)	8 (3)	5 (3)	2 (1)	
	その他の接客娯楽業		21 (8)	10 (4)	11	110.0%	17 (6)	1 (1)			2		1 (1)
その他	ビルメンテナンス業		41 (23)	37 (27)	4	10.8%	29 (16)	1 (1)		9 (4)	2 (2)		
	その他(上記以外の全ての業種)		75 (33)	80 (26)	-5	-6.3%	30 (12)	2	5 (3)	20 (9)	7 (2)	5 (3)	6 (4)
合計			⑪ 1,092 (357)	④ 1,074 (332)	18	1.7%	⑤ 421 (140)	② 53 (12)	57 (19)	② 289 (98)	113 (36)	② 60 (16)	99 (36)
						前年同期	① 356 (112)	69 (18)	69 (19)	① 297 (97)	① 128 (43)	51 (13)	① 104 (30)
						増減数	65	-16	-12	-8	-15	9	-5
						増減率	18.3%	-23.2%	-17.4%	-2.7%	-11.7%	17.6%	-4.8%

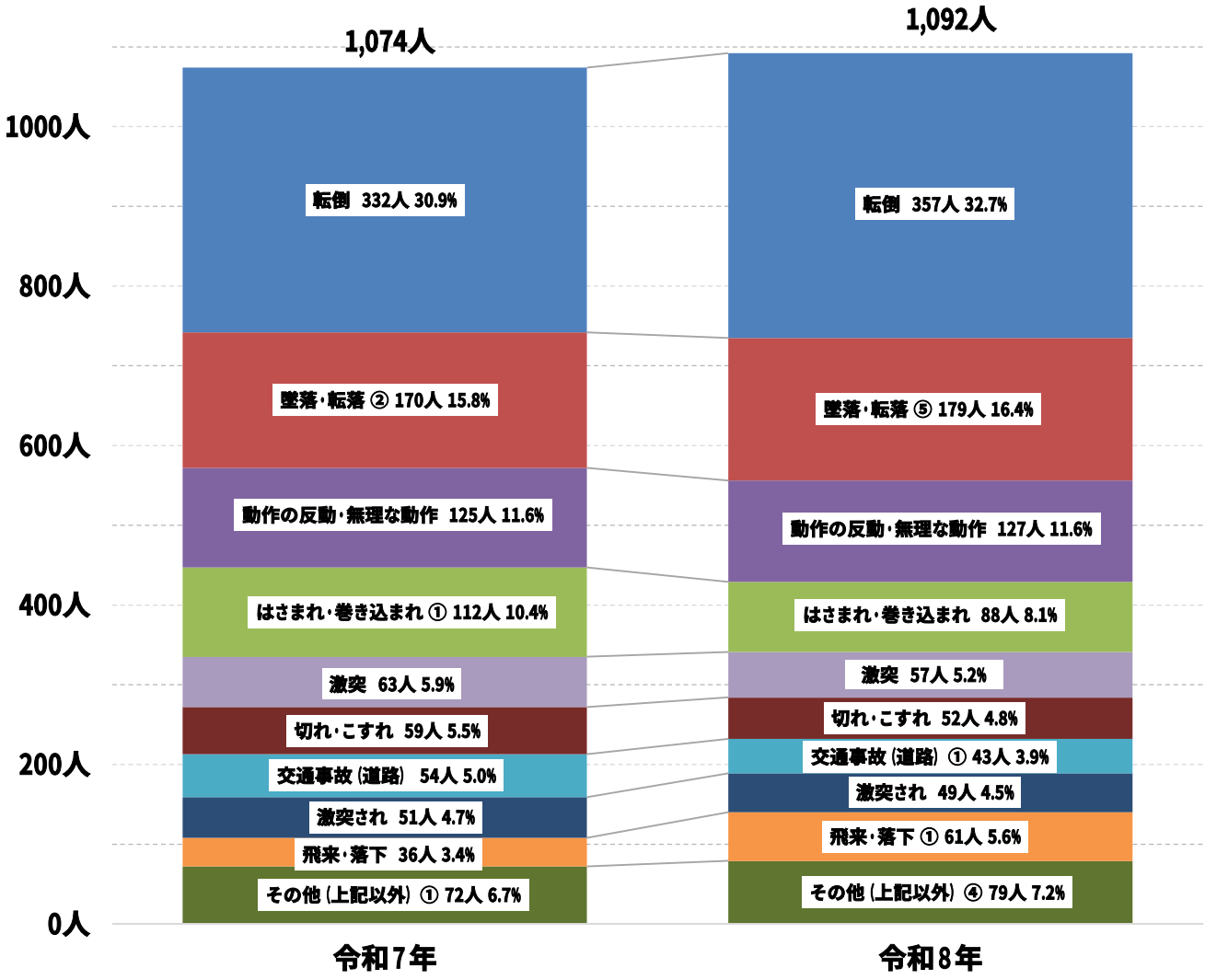
（注）令和８年は令和８年10月末の速報値、令和７年は令和７年10月末の速報値です。
○内は死亡者数（内数）です。　　（　）内は転倒災害者数（内数）です。
新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

【ｸﾞﾗﾌ1】 令和７年･令和８年　業種別労働災害発生状況＊



＊　令和７年は令和７年10月末の速報値、令和８年は令和８年10月末の速報値

【ｸﾞﾗﾌ2】 令和７年･令和８年　事故の型別労働災害発生状況＊



＊　令和７年は令和７年10月末の速報値、令和８年は令和８年10月末の速報値

〇内は死亡者数(内数)

【参考1】

令和８年　労働災害発生状況（休業４日以上の死傷者数）［月別発生状況］

令和８年１月～10月

岩手労働局

業種		当年累計	前年同期	対前年同期 増減数	対前年同期 増減率	月別発生状況 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製造業	食料品 水産食品	16 (5)	19 (8)	-3	-15.8%	2 (1)		3 (1)	1 (1)	1	4 (1)		2	3 (1)			
	食料品 上記以外の食料品	77 (22)	67 (21)	10	14.9%	11 (4)	15 (6)	5	4	3	8 (2)	11 (3)	13 (4)	4 (2)	3 (1)		
	繊維・衣服その他繊維製品	7 (3)	5	2	40.0%	1 (1)			1		2	2 (2)	1				
	木材・木製品、家具・装備品	16 (2)	25 (2)	-9	-36.0%	4 (2)	3		2		2	1	2	1	1		
	パルプ・紙、印刷・製本	6 (3)	① 7 (1)	-1	-14.3%	2 (2)	1				1 (1)			1	1		
	化学工業	① 14 (4)	15	-1	-6.7%	3 (2)	1	1	① 2	2	1 (1)			4 (1)			
	窯業土石	① 9 (2)	7 (1)	2	28.6%	1	1		2 (2)		1	1		① 3			
	鉄鋼業、非鉄金属	10 (1)	9 (3)	1	11.1%	1 (1)	2		1			3	1		2		
	金属製品	20 (5)	15 (5)	5	33.3%	4 (1)	2 (1)	1	4 (1)		2 (1)	2	2	2	1 (1)		
	一般機械器具	① 18 (3)	18 (7)	0	0.0%	4 (2)	1	2	1	1	3	3	1 (1)	① 2			
	電気機械器具	10 (5)	8 (4)	2	25.0%	5 (5)	3			1	1						
	輸送用機械製造	19 (1)	15 (2)	4	26.7%	2 (1)	4	1	3	1	3	4		1			
	電気・ガス		2 (2)	-2													
	その他の製造	① 18 (5)	17 (5)	1	5.9%	4 (3)	1	3	1	1	2 (2)	2	1	2	① 1		
	小計	④ 240 (61)	① 229 (61)	11	4.8%	44 (25)	34 (7)	16 (1)	① 22 (4)	10	30 (8)	29 (5)	23 (5)	② 23 (4)	① 9 (2)		
鉱業		① 4 (1)	1 (1)	3	300.0%	1					1	1 (1)	① 1				
建設業	土木工事	① 45 (7)	46 (8)	-1	-2.2%	10 (2)	8	2 (1)	2 (1)	7	5 (1)	① 4	2	4 (2)	1		
	建築工事 鉄骨・鉄筋家屋	14 (3)	11 (4)	3	27.3%	2 (2)	1 (1)	1	3	1	1	2	3				
	建築工事 木造家屋	20 (1)	41 (9)	-21	-51.2%	2		1	1	1	4 (1)	2	3	2	4		
	建築工事 その他の建築工事	23 (6)	24 (3)	-1	-4.2%	3 (1)	3 (1)	4 (2)	3	3 (1)	1	2 (1)	1		3		
	その他の建設	① 23 (4)	21 (3)	2	9.5%	2 (1)	3 (1)	1	3 (1)	3 (1)		4	① 2	4	1		
	小計	② 125 (21)	143 (27)	-18	-12.6%	19 (6)	15 (3)	9 (3)	12 (2)	15 (2)	11 (2)	① 14 (1)	① 11	10 (2)	9		
運輸交通業	道路貨物運送業	① 94 (19)	114 (15)	-20	-17.5%	21 (8)	① 7 (1)	7 (1)	6	9 (3)	12 (1)	13 (3)	6 (1)	5	8 (1)		
	その他の運輸交通業	12 (6)	13 (5)	-1	-7.7%	4 (3)	1 (1)		2 (1)		1		1	1 (1)	2		
貨物取扱		1	1	0	0.0%						1						
農林業	農業	21 (4)	17 (3)	4	23.5%	2	1	1	2	5 (2)	3 (2)		3	4			
	林業	③ 38 (3)	30 (2)	8	26.7%	5	① 4	6 (1)	4	4 (1)	3		3	① 6	① 3 (1)		
畜産水産業	畜産業	45 (11)	① 39 (5)	6	15.4%	8 (4)	7 (1)	3 (2)	6	2	7 (1)	4 (2)	2	3 (1)	3		
	水産業	13 (2)	① 12 (2)	1	8.3%	2		1	1		3 (2)	2	1	3			
商業	小売業	121 (66)	125 (60)	-4	-3.2%	35 (32)	13 (9)	11 (4)	11 (4)	6 (1)	8 (4)	10 (3)	14 (5)	7 (3)	6 (1)		
	その他の商業	40 (17)	35 (14)	5	14.3%	13 (9)	5 (2)	2 (1)	2	4 (1)	4	4 (1)	4 (1)	1 (1)	1 (1)		
通信業		14 (3)	15 (7)	-1	-6.7%	6 (2)	2	1				2 (1)		1	2		
保健衛生業	社会福祉施設	96 (43)	93 (32)	3	3.2%	16 (12)	10 (5)	12 (6)	7 (2)	7 (1)	13 (5)	18 (8)	9 (3)	2	2 (1)		
	その他の保健衛生業	35 (13)	29 (15)	6	20.7%	4 (3)	1 (1)	7 (3)	3 (2)	2 (1)	10 (2)	1	4	2 (1)	1		
接客娯楽業	旅館業	24 (12)	① 23 (15)	1	4.3%	5 (3)	2 (1)	5 (4)	1	1	1 (1)	4 (1)	3 (2)	2			
	飲食店	32 (11)	28 (12)	4	14.3%	5 (3)		5 (1)	2 (1)	3	3	2 (1)	8 (3)	2 (1)	2 (1)		
	その他の接客娯楽業	21 (8)	10 (4)	11	110.0%	3 (3)	3 (2)	1 (1)	1	2	3	3 (1)	3 (1)		2		
その他	ビルメンテナンス業	41 (23)	37 (27)	4	10.8%	8 (6)	9 (5)	1	3 (2)	6 (3)	1	6 (3)	4 (2)	2 (2)	1		
	その他(上記以外の全ての業種)	75 (33)	80 (26)	-5	-6.3%	19 (14)	7 (4)	5 (1)	10 (4)	6	6 (3)	7 (1)	4 (3)	6 (2)	5 (1)		
合計		⑪ 1,092 (357)	④ 1,074 (332)	18	1.7%	220 (133)	② 121 (42)	93 (29)	① 95 (22)	82 (15)	121 (31)	① 120 (32)	② 104 (26)	③ 80 (18)	② 56 (9)		
					前年同期	149 (72)	157 (68)	① 82 (17)	116 (30)	① 120 (28)	92 (21)	① 116 (33)	85 (15)	104 (33)	① 53 (15)		

（注）当年累計は令和８年10月末の速報値、前年同期は令和７年10月末の速報値です。
○内は死亡者数（内数）です。　　(　)内は転倒災害者数（内数）です。
新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

【参考2】

令和８年　労働災害発生状況（休業４日以上の死傷者数）［年齢別発生状況］

令和８年１月～10月

岩手労働局

業種			当年累計	年齢別発生状況											
				19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
製造業	食料品	水産食料品	16 (5)			2	2	1	2		1	1	2 (2)	3 (1)	1 (1)	1 (1)
		上記以外の食料品	77 (22)	2	8 (1)	4	4 (1)	8 (3)	6	9 (2)	8 (4)	10 (3)	10 (3)	6 (4)	2 (1)	
	繊維・衣服その他繊維製品		7 (3)			1 (1)	1				1	3 (2)		1		
	木材・木製品、家具・装備品		16 (2)			1		1 (1)	1	2	2 (1)	4	2	1	2	
	パルプ・紙、印刷・製本		6 (3)		1					3 (1)	1 (1)			1 (1)		
	化学工業		① 14 (4)		1	2	① 2	1		1 (1)	1 (1)	3 (1)	2	1 (1)		
	窯業土石		① 9 (2)			1 (1)			2	2	1	2 (1)			① 1	
	鉄鋼業、非鉄金属		10 (1)		1	1	1	1	1	1	1	2 (1)	1			
	金属製品		20 (5)		2	2		2 (1)	1	2	2 (1)	5 (2)	1	1	2 (1)	
	一般機械器具		① 18 (3)	1		3	1	1	1	3	1	3 (2)	3 (1)			① 1
	電気機械器具		10 (5)				1	1	2 (1)		3 (1)	2 (2)	1 (1)			
	輸送用機械製造		19 (1)		2	2	1	4	3 (1)	3	1	1		1		1
	電気・ガス															
	その他の製造		① 18 (5)			2			4	① 3 (1)	2	2 (1)	2 (2)	1 (1)	2	
小計			④ 240 (61)	3	15 (1)	21 (2)	① 13 (1)	20 (5)	23 (2)	① 29 (5)	25 (9)	38 (15)	24 (9)	16 (8)	① 10 (3)	① 3 (1)
鉱業			① 4 (1)										1 (1)	1	1	① 1
建設業	土木工事		① 45 (7)		1	1 (1)	1	7 (1)	2	8 (1)	3	1	① 6 (2)	5	5 (2)	5
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	14 (3)		1 (1)	1	1		1	3 (1)		1	4 (1)	1	1	
		木造家屋	20 (1)	1 (1)		3	1	1	3			2	1	1	4	3
		その他の建築工事	23 (6)		1 (1)	1	4 (1)	3	2	2 (1)	2 (1)	1	2 (1)	3 (1)	1	1
	その他の建設		① 23 (4)			4 (1)	2	2	1	4	① 3	1 (1)	1 (1)	4 (1)	1	
小計			② 125 (21)	1 (1)	3 (2)	10 (2)	9 (1)	13 (1)	9	17 (3)	① 8 (1)	6 (1)	① 14 (5)	14 (2)	12 (2)	9
運輸交通業	道路貨物運送業		① 94 (19)	1	3		3 (1)	4	5	14 (2)	① 19 (6)	18 (3)	20 (5)	4 (2)	3	
	その他の運輸交通業		12 (6)		1		1				2 (1)	1	3 (3)	2 (2)	2	
貨物取扱			1									1				
農林業	農業		21 (4)		2	1	3 (1)	1	1		3	1 (1)	2	2	1 (1)	4 (1)
	林業		③ 38 (3)		3		1	3 (1)	2	1	3	10 (1)	7 (1)	2	② 3	① 3
畜産水産業	畜産業		45 (11)	1	1	7	5	1	6 (4)	3	6 (2)	4 (2)	6 (2)	5 (1)		
	水産業		13 (2)				1	1	1		1	5 (1)	4 (1)			
商業	小売業		121 (66)	1	3	5 (2)	7	4 (2)	5 (2)	14 (9)	24 (10)	11 (6)	18 (15)	20 (12)	2 (2)	7 (6)
	その他の商業		40 (17)		1	1	1 (1)	3	7 (1)	2	11 (5)	6 (5)	4 (2)	2 (2)	1	1 (1)
通信業			14 (3)			2		1 (1)	2	2 (2)		4	2	1		
保健衛生業	社会福祉施設		96 (43)		6 (1)	5 (1)	4	6 (1)	6 (1)	4 (2)	14 (6)	16 (7)	19 (12)	6 (5)	9 (6)	1 (1)
	その他の保健衛生業		35 (13)		1		2	2	5 (1)	5 (3)	4	6 (1)	4 (3)	6 (5)		
接客娯楽業	旅館業		24 (12)	2	1	1 (1)	2 (2)	1 (1)		3 (2)	3	6 (4)	1 (1)		3 (1)	1
	飲食店		32 (11)	2	3	2	3		5 (1)	3	4 (2)		3 (3)	2 (2)	3 (2)	2 (1)
	その他の接客娯楽業		21 (8)			4 (2)	2		1 (1)	3 (1)	3	1 (1)	3 (1)	2 (2)	2	
その他	ビルメンテナンス業		41 (23)			1		1	1		5	6 (5)	1 (1)	5 (4)	13 (9)	8 (4)
	その他(上記以外の全ての業種)		75 (33)	1	4	4 (1)	2 (1)	4 (1)	4 (2)	6 (3)	8 (5)	10 (4)	18 (10)	8 (3)	4 (2)	2 (1)
合計			⑪ 1,092 (357)	12 (1)	47 (4)	64 (11)	① 59 (8)	65 (13)	83 (15)	① 106 (32)	② 143 (47)	150 (57)	① 154 (75)	98 (50)	③ 69 (28)	③ 42 (16)

（注）　当年累計は令和８年10月末の速報値です。
○内は死亡者数（内数）です。　　(　)内は転倒災害者数（内数）です。
新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

【参考3】　　令和8年　主要業種における事故の型別労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和8年1月～10月　　岩手労働局

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	28	61	10	15	3	9	40	17			14	2					5		31	4	1	240
建設業	38	21	7	14	5	6	9	7	1		2						9		5	1		125
道路貨物運送業	32	19	12	4	1	4	7	1				1					5		7	1		94
林業	5	3	1	6	4	10		6												3		38
小売業	11	66		1	1	5	4	5			2	1					5		19	1		121
社会福祉施設	8	43	5	2		2	2	1			2						1		27	3		96
全産業	179	357	57	61	17	49	88	52	1		31	8	1				43		127	20	1	1,092
	16.4%	32.7%	5.2%	5.6%	1.6%	4.5%	8.1%	4.8%	0.1%	0.0%	2.8%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	11.6%	1.8%	0.1%	100.0%

令和7年1月～10月

製造業	23	61	16	8	3	5	62	12			16	1		1			3		17	1		229
建設業	39	27	5	14	3	8	11	16			6						10		4			143
道路貨物運送業	38	15	8	2	2	8	10	2									10		19			114
林業	5	2		5		6	4	4			1								2	1		30
小売業	13	60	7	3	1	6	6	2			2						11		14			125
社会福祉施設	5	32	2				1	2			1						2		37	11		93
全産業	170	332	63	36	14	51	112	59			33	2		1			54		125	22		1,074
	15.8%	30.9%	5.9%	3.4%	1.3%	4.7%	10.4%	5.5%	0.0%	0.0%	3.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	11.6%	2.0%	0.0%	100.0%

＜差分＞

製造業	5	0	-6	7	0	4	-22	5			-2	1		-1			2		14	3	1	11
建設業	-1	-6	2	0	2	-2	-2	-9	1		-4						-1		1	1		-18
道路貨物運送業	-6	4	4	2	-1	-4	-3	-1				1					-5		-12	1		-20
林業	0	1	1	1	4	4	-4	2			-1								-2	2		8
小売業	-2	6	-7	-2	0	-1	-2	3			0	1					-6		5	1		-4
社会福祉施設	3	11	3	2		2	1	-1			1						-1		-10	-8		3
全産業	9	25	-6	25	3	-2	-24	-7	1		-2	6	1	-1			-11		2	-2	1	18

(注)　令和8年は令和8年10月末の速報値、令和7年は令和7年10月末の速報値です。
　　新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

【別表】

令和８年　新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害発生状況　（休業４日以上の死傷者数）

令和８年１月～10月

岩手労働局

業種			岩手局 令和８年	岩手局 令和７年	岩手局 増減数	岩手局 増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
製造業	食料品	水産食料品											
		上記以外の食料品											
	繊維・衣服その他繊維製品												
	木材・木製品、家具・装備品												
	パルプ・紙、印刷・製本												
	化学工業												
	窯業土石												
	鉄鋼業、非鉄金属												
	金属製品												
	一般機械器具												
	電気機械器具												
	輸送用機械製造												
	電気・ガス												
	その他の製造												
	小　計												
鉱業													
建設業	土木工事												
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋											
		木造家屋											
		その他の建築工事											
	その他の建設												
	小　計												
運輸交通業	道路貨物運送業												
	その他の運輸交通業												
貨物取扱													
農林業	農業												
	林業												
畜産水産業	畜産業												
	水産業												
商業	小売業		2		2						2		
	その他の商業												
通信業													
保健衛生業	社会福祉施設		27	27	0	0.0%	15			3		8	1
	その他の保健衛生業		33	19	14	73.7%	7	26					
接客娯楽業	旅館業												
	飲食店												
	その他の接客娯楽業												
その他	ビルメンテナンス業												
	その他(上記以外の全ての業種)												
合　計			62	46	16	34.8%	22	26		3	2	8	1
						前年同期	7	20		8	5		6
						増減数	15	6		-5	-3	8	-5
						増減率	214.3%	30.0%		-62.5%	-60.0%		-83.3%

（注）　令和８年は令和８年10月末の速報値、令和７年は令和７年10月末の速報値です。
　　○内は死亡者数（内数）です。

いわて年末年始無災害運動

実施期間：令和8年12月1日～令和9年1月31日

［準備期間：令和８年11月1日～令和８年11月30日］

あなたの安全家族の願い 年末年始も無災害

本県においては、例年、12月から1月にかけての寒冷期に発生する転倒災害の約6割、交通労働災害の約５割が路面凍結など冬季特有要因によるものとなっており、冬季における労働災害防止が極めて重要となっています。また、これから迎える年末年始は、慌ただしさも加わり、季節要因以外の墜落・転落災害など多く発生している災害も重点的に労働災害防止対策を徹底する必要があります。

このため、準備期間を含め、各事業場においては、次の取組などを通じて安全意識の高揚及び安全衛生対策の取組の更なる徹底をお願いします。特に冬季特有災害については裏面のチェックリストを用いるなど、対策の点検をお願いします。

- **経営トップによる安全への所信表明**
- **冬季特有災害の防止**
- **14次労働災害防止計画に基づく取組の再徹底**
- **リスクアセスメント・KYの実施及びこれらを踏まえた危険の見える化の実施**
- **安全パトロールなど労働災害防止対策の点検の実施**
- **労働災害防止団体が実施する年末年始無災害運動への参加**



主唱者　岩手労働局／岩手労働災害防止団体連絡協議会

協議会構成団体：（公財）岩手労働基準協会／建設業労働災害防止協会岩手県支部／陸上貨物運送事業労働災害防止協会岩手県支部／港湾貨物運送事業労働災害防止協会東北総支部岩手県支部／林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部／岩手県採石工業組合／（公社）ボイラ・クレーン安全協会岩手事務所／（公財）岩手県予防医学協会／岩手県陸砂利工業組合／（独）労働者健康安全機構岩手産業保健総合支援センター

協　賛　岩手県商工会議所連合会／岩手県商工会連合会／岩手県木造家屋等低層住宅建築工事安全対策協議会

冬季特有災害を防止しよう！

1 積雪・凍結による転倒災害、墜落災害の防止

- □ 事業場の敷地図等に積雪・凍結しやすい場所を記入した転倒危険マップ等を作成・掲示し、転倒リスクの見える化を図る。
- □ 事務所・工場等の出入口付近、駐車場、通路、作業箇所の積雪・凍結防止のための囲いの設置、除雪、融雪措置の徹底。
- □ 工事現場の外部足場、事業場建屋の外階段等の雪の吹き込み防止用ネット等の設置。
- □ 滑り難い靴等の着用徹底。
- □ 作業時のヘルメットの着用。

※ 12 月～2 月は冬季転倒災害防止対策強化期間です。

2 車両等のスリップ事故等の交通労働災害の防止

- □ スタッドレスタイヤ、降雪用ワイパーなどの早めの交換。
- □ 余裕を持った車両運行計画の作成。
- □ 速度を控え、早めブレーキ、急ハンドル・急ブレーキ回避の徹底及び十分な車間距離の確保。
- □ 橋上・トンネル出入口・日陰部分等の速度控えめの徹底。
- □ ブラックアイスバーンを予測した運転。※
- □ 運転席を離れる際の車輪止めの設置。

※ブラックアイスバーンとは、濡れているだけのように黒く見え、薄い氷の膜ができた路面状態のことで、濡れた路面との見極めが難しい。

3 雪降ろしの際の災害の防止

- □ 作業開始前の腰痛予防体操の励行。
- □ 安全装備（滑り難い靴・墜落制止用器具（安全帯）・ヘルメット等）の徹底。
- □ 軒先の立入禁止の徹底。

4 火災・火傷の防止

- □ 薪ストーブ・焚き火等の着火の際のガソリン・軽油・灯油等の使用禁止。
- □ ガソリン等可燃物の保管場所の火気厳禁の徹底。
- □ 事業場、工事現場、寄宿舎等における火気取締責任者の選任、作業終了時・就寝時等の火気の点検の徹底。

5 一酸化炭素中毒の防止

- □ 屋内で石油ストーブ等を使用する際の換気の徹底。
- □ 自然換気の不十分な場所では内燃機関を有する機械を使用しない。また、練炭での採暖をしない。
- □ 工事現場における練炭によるコンクリート養生は、原則避ける。やむをえず練炭を使用する場合は、一酸化炭素中毒の予防について十分な対策を講じたうえで使用する。

6 凍結の緩みによる土砂崩壊災害等の防止

- □ 凍結・融解の繰り返しによる地山の緩みから生じる崩壊・転石による災害防止のための作業開始前の地山の点検・こそくの徹底、土止め支保工の適切な設置。
- □ 融雪・鉄砲水災害防止のため、作業箇所周辺、上流の雪・融水等の状態の調査の実施と調査結果に基づく適切な措置の徹底。

7 作業時の保温・体操の実施

- □ 作業場内の気温調整、防寒衣の着用等による保温の徹底。
- □ 作業開始前及び作業の合間の筋肉をほぐす体操の励行。

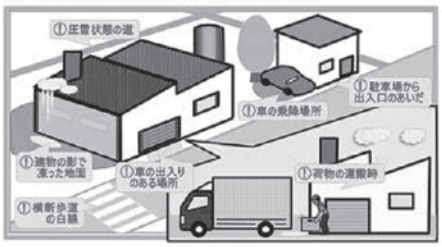
8 その他の冬季特有災害の防止

- □ 積雪・強風によるハウス等の転倒・倒壊防止。
- □ 雪崩による危険防止。
- □ 吹雪・濃霧による遭難防止対策の徹底。
- □ 除雪作業に用いる車両系建設機械の有資格者による運転と安全教育の徹底。
- □ 除排雪機械の着氷除去作業時のエンジンの停止。

職場から転倒災害をなくしましょう！

《12 月～ 2 月は冬季転倒災害防止対策強化期間です》

★ 転倒危険マップの作成



★ 滑りにくい靴の着用



ピン・金具付きの靴底

金属のピンや金具が靴底に備わっており、氷を引っかき、突き刺して滑りを防ぎます。
脱着可能な靴用アタッチメントタイプもあります。



深い溝のある靴底

グリップ力が強いため滑りにくくなっています。
溝が浅くなるとグリップ力が低下するので溝の点検も重要です。

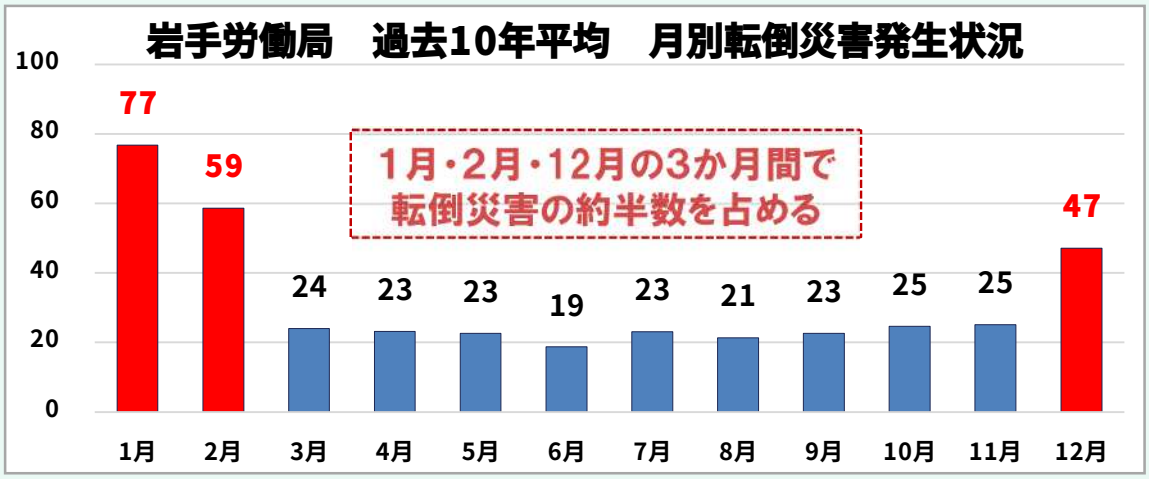
12月から２月は

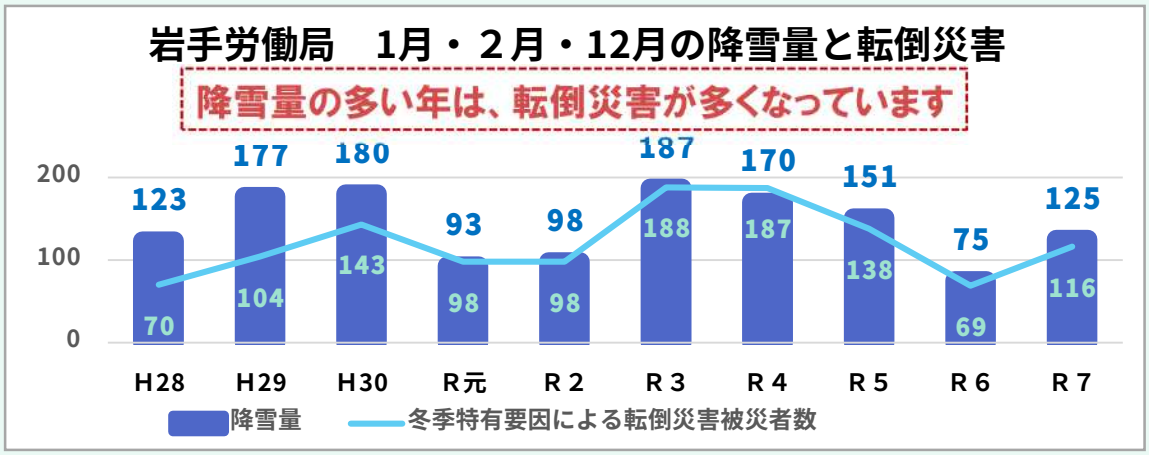
冬季転倒災害防止対策強化期間 です

職場から転倒災害をなくしましょう!

岩手労働局では、冬季間における転倒災害を防止するため、12月から２月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、「いわて年末年始無災害運動」と連動し、転倒災害防止に取り組みます。

岩手労働局管内では、転倒による労働災害が最も多く、全体の約３割を占めています。特に12月から２月の冬季に多く発生しています。





（降雪量は盛岡地域）



！雪を積もらせない、凍らせない対策が大切です！

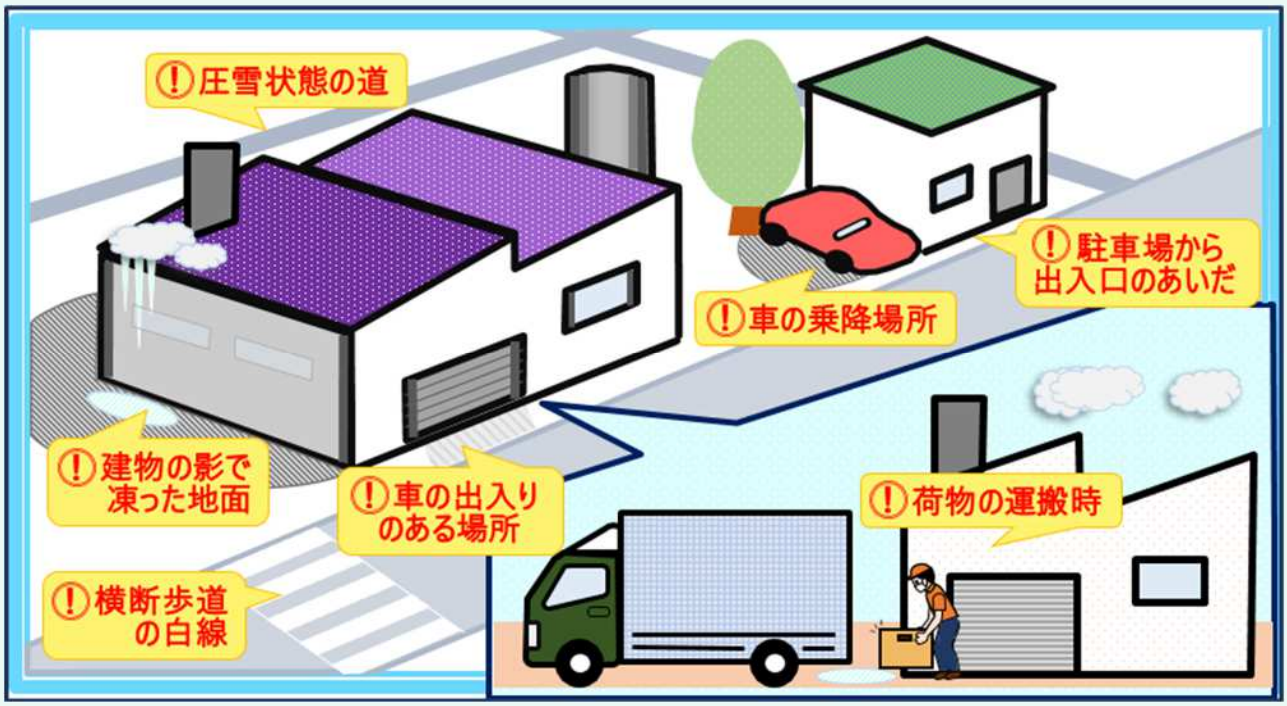


厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために Ministry of Health, Labour and Welfare

岩手労働局 / 各労働基準監督署

冬季特有の転倒災害を防止しよう！

★ 転倒危険マップを作成しましょう



★ 滑りにくい靴を履いて安全に歩行しましょう

ピン・金具付きの靴底

靴底に付いた金属のピンや金具が氷を引っかき、突き刺して滑りを防ぎます。
脱着可能な靴用アタッチメントタイプもあります。



【注意点】
カーペット等に金具やピンが引っかかってつまづいたり、タイル等の床で滑ってしまう危険があります。



深い溝のある靴底

グリップ力が強いため、滑りにくくなっています。
溝が浅くなるとグリップ力が低下するので溝の点検も重要です。



【注意点】
溝が深くても靴底が固いと「つるつる路面」では滑りやすく、また、溝に雪が詰まると滑りやすくなります。



～雪道を歩くときのポイント～



大きな歩幅で歩く

かかとから着地する



歩幅は小さく
すり足で歩く

靴裏全体に重心を乗せるように着地する

積雪･凍結による転倒災害の防止

- ☐ 安全委員会等における転倒災害防止に係る調査審議。
- ☐ 職場巡視等による転倒災害防止対策の実施（定着）状況の確認。
- ☐ 気象情報の活用によるリスク低減の実施。
- ☐ 通路、作業床の凍結等による危険防止の徹底。
- ☐ 防滑靴の着用や安全な歩き方の指導等。

資料に関するお問い合わせ先： 岩手労働局健康安全課
各労働基準監督署

職場のあんぜんサイト

（2026.10）